食育だより

令和8年（2026年）11月

八王子市立由木中央小学校
校長　松山　大作
栄養士　指原　幸枝

10月13日～16日 もったいない大作戦

食べ残しを減らすためにできることを各クラスで話し合って、行動目標を決めてもらいました。

低学年では、「たべきれるぶんだけよそって、のこさずたべる。」「にがてなものも一口でも多くちょうせんしよう！。」

中学年では、「苦手な物はさいしょにへらして、一口でも多く食べよう。」「話さずに食べる時間をとり、全員1回以上おかわりしよう。」

高学年では「感謝の気持ちを大切に苦手なものも少しは食べてフードロスをへらそう。」「自分に合った量を見つけよう。おかわり「一口運動」に参加しよう。」などそれぞれに合わせた目標でした。また、給食委員会では、もったいない大作戦のパワーポイントを作成してもらい、給食の時間に担当のクラスで発表してもらいました。子どもたちから積極的に伝えてもらえたことは良かったです。

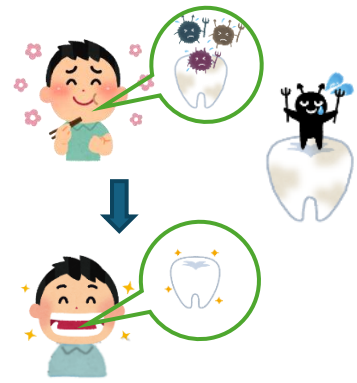
残菜量では、9月の1週間と比べると、主食は、45人分→45人分、おかずは、55人分→38人分、牛乳は、54人分→40人分に減りました。主食は、じゃこマヨトースト以外は、とてもよく食べていました。一人一人が感謝の気持ちをもって食品ロスを減らす取り組みをしてもらえた結果だと思いました。これからもこの取り組みを継続して行っていきたいです。

11月8日はいい歯の日

むし歯予防のためのポイント　よくかんで食べよう！

よくかんで食べるとだ液がたくさん出て食べ物のカスや細きんを洗い流してくれます。「歯をみがく」ことはもちろん、よくかむことでもむし歯を予防することができます。また、よくかむことで消化がよくなり、肥満を予防する、脳を刺激して頭の働きがよくなる、などの良いことがあります。

ご家庭でもよくかんで食べる、小魚やかみ応えのある料理を食べるなど歯の健康について考えてみてはいかがでしょうか。体の健康のためにも、歯・口の健康を保ちましょう！



＊･･･＊食と健康コラム＊･･･＊

テーマ ： 感謝の気持ちをもって食事をしよう！！



食事のあいさつ「いただきます」や「ごちそうさま」にはどんな意味が込められているでしょう？

食材の命をいただくことへの感謝、作ってくれた人や食材を生産してくれた人への感謝の気持ちがこもったあいさつですね。

食事をいただく側の私たちが、感謝の気持ちを伝えるにはどんなことができるか考えてみましょう！

▶感謝の気持ちはどうやって伝える？



他にもどんなできることがあるか考えてみよう！

11月は地産地消月間です！～自然の恵みに感謝していただきましょう～

八王子市では、地場産物を積極的に給食で使用することで、地域でとれた食材の良さを知り、生産者の方々への感謝の心や郷土愛を育む食育を推進しています。

20日「八王子産の白いごはん」を食べる日



〈米農家「石川　研 さん」からメッセージ〉

私たちが作った地元のお米を食べてもらえることが最高にうれしくて、今年もはりきって作りました！私は田んぼが広がる高月町の風景が大好きで、この自然が100年後も続いて欲しいと願っています。みんなが、お米を食べてくれることが、田んぼを守っていくことにも繋がります。しっかり食べて、元気にすごしてください！！

八王子産 大根

葉っぱも含めて丸ごと大根を使い、4日は「はち大根と豚の角煮丼」を、25日は「はち大根おろしスパゲティ」を味わいます。



八王子産 ゆず

八王子駅から西へ車で30分、山の中にある小津町の豊かな自然の中で、すくすくと育ったゆずを、30日の給食で味わいます。



日本遺産 ～過去・現在・未来へと紡ぐ　ぼく　わたしの　日本遺産献立～



高尾山御膳 に

10日の給食でいただきます

絹産業で栄えた養蚕農家の人たちは、大切な蚕のお守りを高尾山薬王院授かりに行きました。このお守りの噂が広がり、多くの人が参拝し、今では高尾山は「祈りの山」として大切にされています。

天狗ごはん	山の幸和え	高尾揚げ もみじあんかけ	翠露汁
高尾山は古くから「天狗が住む山」と言われています。赤米でご飯を色づけし、天狗の帽子を黒ごまで表しました。	しらたきで高尾山の蛇滝や琵琶滝を表現し、山の幸であるきくらげを入れた和え物です。	高尾山に広がる美しい紅葉をもみじの形をしたかまぼこを使って表しました。	高尾の自然をイメージしました。汁の中にあおさを入れて山の中に立ちこめる翠靄（みどり色の靄）を表しました。

100年フードを食べて 日本の食文化をまなぼう！

100年フードとは、地域の食文化を、未来に向けて100年続けていくことを目指した、文化庁の取組です。

未来の１００年フード部門　～目指せ、１００年！～　27日にいただきます。



いわき市は福島県の東南部にあります。

「いわき七浜」と呼ばれる七つの浜があり、周辺には多くの漁港があります。一年を通していろいろな魚がとれます。



サンマのポーポー焼き



サンマのすり身にみそやネギ、しょうがなどを混ぜてハンバーグのように丸めて焼いた、いわき市発祥の郷土料理です。

サンマを焼くときに油で火がポーポーと燃え上がることから、この名前が付いたとも言われています。いわき市では料理教室の開催や、給食での提供を通じて、代々受け継がれるような取組が行われています。

11月24日は 和食の日

「和食の味」の鍵になるのは『出汁のうま味』です。日本で発見された『うま味』は今や、『UMAMI』として世界で注目されています。給食の汁物の出汁は、けずり節や煮干し、昆布からとっています。

日本の食文化である「和食」を大切にして、日々の生活に活かしましょう。

